

# テック インフラ Tech Infraだより vol.20

## 学力アップで難関大学に合格も！？ テクノロジーが生んだAI先生で弱点克服！

2019年3月8日

テクノロジーの進歩により、学習効率も昔より改善しています  
この環境変化を支えているのがテクノロジー・インフラです！！

### テクノロジー機器に溢れる 今の子供たち

自分の学生時代を振り返ると、あの頃の青春の思い出が蘇ってきます。当時は携帯すらありませんでしたが、今はスマートフォンがあります。しかしそれだけではありません。今は、①教科書からタブレットに、②黒板から電子黒板に、③先生の質問による挙手制からボタン一つで理解度を確認する双方向アプリなどと、教室はテクノロジー機器だらけです。私たちが考えるよりも、今の子供たちはテクノロジーにとっても慣れ親しんでいるのです。世代が下がるにつれて、このトレンドは一層顕著になります。そのため、勉強も学習アプリを使うなど、より効率的にきる環境が整っています。

### 劇的に変わる AI勉強法

勉強していると、「友達は正解なのに自分は間違っただ！」とか「学力が落ちてきた！」という事は多々あると思います。昔は自分で試行錯誤して勉強していましたが、今はテクノロジーの時代です。例えば、ある問題が解けない場合、AI（人工知能）がなぜ解けないのかを分析します。その結果、その問題を解くための、基となる知識・問題をプログラムがはじき出します。それもわからなければ、それに必要な公式や説明を出してくれるサービスが生まれています。

これらは大きく普及しているものではありませんが、大手予備校なども既にこれら新サービスを導入し始めており、大きな人気を呼んでいます。特に、理数系の科目とテクノロジー教育は相性がいいようです。今後これらサービスが大きく普及することが予想されます。









このような新たなテクノロジー・サービスや電子機器の浸透・改良は、テクノロジー・インフラなくして生まれません。特に、若い世代はテクノロジー環境に大きく恩恵を受けるでしょう。

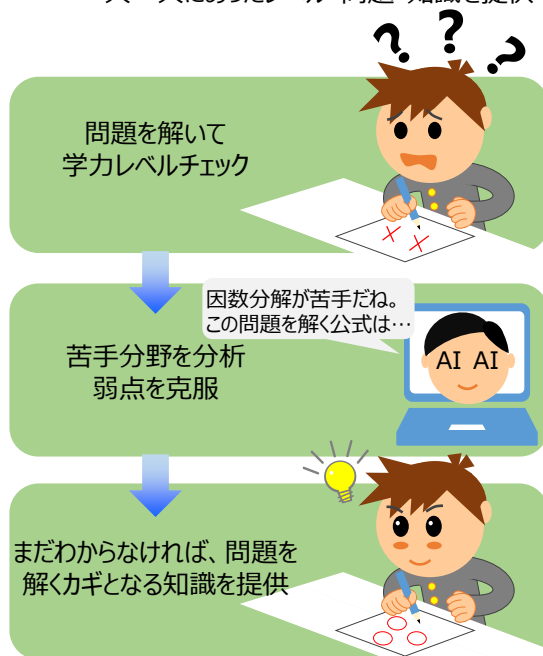
### 世代とテクノロジーとの関係

世代が下がるにつれて、テクノロジーとの親和性が大きい

### AI先生による弱点克服

一人一人にあったレベル・問題・知識を提供

低	世代	生まれ年	通信手段	音楽
	ベビーブーマー	1946-1964	 手紙	 カセット
	ジェネレーションX	1965-1979	 電話	 CD
	ジェネレーションY (ミレニアル世代)	1980-1994	 eメール	 mp3
	ジェネレーションZ	1995-2009	 SNS	 クラウド
	ジェネレーションα (ご参考)	2010-	?	?
高				



上記は、イメージです。生まれ年の定義には諸説あります。



特設サイト「AIやIoTが引き起こす第4次産業革命を支えるTECHNOLOGY INFRASTRUCTURE テクノロジー・インフラ」公開中。  
左記のQRコードもしくは ([https://www.pinebridge.co.jp/fund/40311181/tech\\_infra.html](https://www.pinebridge.co.jp/fund/40311181/tech_infra.html)) からご覧ください。  
左記QRコードが読み取れない場合は、2ページ目に拡大したQRコードを載せていますので、ご利用ください。



特設サイト「AIやIoTが引き起こす第4次産業革命を支えるTECHNOLOGY INFRASTRUCTURE テクノロジー・インフラ」公開中。  
左記のQRコードもしくは ([https://www.pinebridge.co.jp/fund/40311181/tech\\_infra.html](https://www.pinebridge.co.jp/fund/40311181/tech_infra.html)) からご覧ください。

## ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会